



## 2学期を終えて ～保護者の皆様へ～

11月25日に実施したマラソン大会は、素晴らしい好天に恵まれました。当日の朝、登校した子どもたちの表情からは、期待と不安が感じられました。わかばこども園の園児たちが走った後、中・低・高学年の順に小学生がスタート。子どもたちは、運動場を2周走った後、元気よく力強く、校門を出て行きました。拍手の応援に迎えられながら学校に帰ってきた子どもたち。ゴールしたあとの表情には、満足感や達成感が溢れていたり、悔しさをにじませていたりしていました。保護者の皆さんの声援が子どもたちの推進力となりがんばれたと思います。

□2学期はたくさんの学校行事がありました。運動会や修学旅行、野外活動、遠足、PTA 子育て講演会、空き缶回収等、コロナ禍の中、工夫して実施することができました。様々な行事に際し、事前準備や当日のお手伝い、後片付け等、保護者の皆様のご協力のお陰です。PTA 役員さん中心に保護者の皆様、ご理解とご協力を本当にありがとうございました。

□現在、コロナの感染状況は近隣地域では0人の日もできてきました。このまま終息へと向かっていくよう願っています。オミクロン株が猛威をふるいにかけている国もあります。本校としましては、しばらくは近隣の感染状況とオミクロン株の情報に注視しながら学校生活を進めて行きます。日本では小学生のほとんどの年齢層にワクチン接種が実施されていません。子どもたちに接する我々大人がこれまで通り感染予防の意識を高くもち、家庭や学校にウイルスを持ち込まないよう心がけていきたいと考えます。本校からお願いしております「感染拡大防止」「差別・偏見防止」等 HP にも掲載しております。気を緩めることなくこれまで通りの感染対策にご理解とご協力をお願いします。どうぞよい年をお迎えください。

## 手作りの卒業証書 ～手漉き和紙作り～

12月に入り、6年生が手作り和紙の卒業証書作りに取り組みました。本年度は吉野小学校の6年生も、体験のため「さくり：12月8日」「紙漉き：20日」の工程に参加してくれました。原料となる楮（こうぞ）を刈り取り、「蒸し・さくり・ゆすぎ・天日干し・ちりきり・炊き・水より・たたき」という一連の作業を2週間かけて行い、20日に紙漉きを実施しました。今年は吉野小学校も参加してくれることもあり、例年よりたくさんの楮を刈り取りました。その分、作業工程は同じですが各工程の作業量が多くなりました。6年生の一生懸命さを見て、5年生も例年以上に手伝ってくれていました。給食を早く食べ、昼休み自主的に家庭科室でもくもくと作業をしていました。



□校区の伝統産業である和紙作りの体験、そして本校の伝統行事である手作りの卒業証書作りは、窪垣内在住の福西 正行 氏（福西和紙本舗6代目、奈良県伝統工芸士）と、吉野町の歴史に詳しい上市在住の本迫 宏典 氏が毎年指導してくださっています。両氏ともに大変お忙しくされている中、時間を割いて毎年駆けつけてくださっています。工程の合間に福西さんと本迫さんからお聞きするお話も、子どもたちには大変ユーモアがあり大変興味深く楽しく聞き入っています。

福西さんの手漉き和紙は国内だけでなく、外国からも依頼がたくさんあるようです。外国の美術館に現存する日本の浮世絵や版画等（安藤広重や葛飾北斎もあるようです）の修復作業には、古



来から受け継がれた方法で漉く和紙が最適だそうです。ルーブル美術館やスミソニアン博物館等へも出かけられているそうです。

本迫さんは手漉き和紙の研究の一環として、紙を作っている国々を視察に行かれていたそうです。主にアジアの国々で、ヴェトナムやネパール等数カ国訪問され、現地の紙作りを学びながら、日本の紙漉きを紹介しておられました。

□本校の手漉き和紙作りは昭和54年度から始まり、40年以上の歴史があります。福西さんのお父様の代から指導していただいています。本迫さんは福西さんのお父様と一緒に長年指導をしてくださっており、現在も毎年指導をお願いしています。何より当時の保護者や、地域のみなさん、紙漉きの知識をお持ちの方々、たくさんの方々のおかげで絶えること無く今年の6年生も実施することができます。本当にありがたいことです。中井町長が20日の紙漉きに訪問してくださいました。町長さんは昭和55年度卒業生であり、紙漉きの2期生だそうです。電撃的に来校していただき、当時の卒業証書を子どもたちに披露し、手漉き和紙の良さや当時の思い出を語ってくださいました。紙漉きの様子を朝日新聞社と奈良新聞社が取材にも来られていました。楮栽培から和紙作りまで、全ての工程を子どもたちが手作りで行っている学校はほとんど無いようです。



## ボランティアの皆さん、ありがとうございます!⑥



校門を入ると藤棚に沿ってプランターが並べられてあります。季節によりチューリップやムスカリ、カサブランカが綺麗に咲きほこります。現在はチューリップの球根が来年の春を土の中で待ちわびています。綺麗な花が育つ栄養満点の土作りに、今年も花植えボランティアの皆さんが来てくださいました。現在11名の方々が平尾幸神会の皆さんを中心に登録してくれています。毎年元気いっぱい、明るい笑顔で「子どもたちに元気をもらえるので楽しいです。」「私らはこれを楽しみにしてるから。」「この子たちはよく働くよ。」と言ってくださいます。環境委員会の時間にあわせて来校していただき、子どもたちと一緒に大きなビニールシートの上で土と肥料を入念に混ぜ合わせてくれます。その土をプランターに入れ、球根を植え、そ

して設置場所に運びます。「来年の春は新しい校舎で芽をだすねんやろね。さみしくなるわ。」と皆さん愛着のあるこの校舎に名残惜しそうでした。寒い中本当にありがとうございました。

## 協力をお願い

吉野山観光協会様より下記の通り依頼がありましたのでお知らせします。

師走の時候、皆様にはお健やかに過ごすの事とお喜び申し上げます。平素は何かとご支援、ご協力いただきまして有り難うございます。

さて下記の通り「鬼フェスin吉野山」を開催致します。また、今回初めて町内こども園の園児、小学校の児童のみんなに鬼にまつわる絵をカップに描いてもらい2月5日に金峯山寺境内に並べ火を灯そうと企画致しました。何卒ご理解とご協力を宜しくお願いします。

□金峯山寺様には、遠足で境内を案内していただいたり、子どもたちが読む「小学生新聞」を毎月寄付していただいています。ありがたいことです。

北小学校の保護者の皆様、主旨を理解していただき、冬休みに子どもたちと一緒に制作をお願いします。ご協力をお願いします。ご協力いただける方は下記の要領で制作・提出をお願いします。

- ①本日配布したプラスチック製カップにマジックで鬼にまつわる絵を描いてください。(鬼にまつわる字でも可：自由に描いてください)
- ②冬休みが明けたら1月14日(金)迄に学校へ提出をお願いします。
- ③カップの底(円形・外側)に名前(目印でも可)をお願いします。(返却していただけるようです)カップの口が上になるよう設置しますので、展示時名前は地面に接し見えません。